

FX NEWS PRESS 9

2018年9月4日発行
エフエックス
ニュースプレス9月号

発行・編修
カネツFX証券
コンサルティング部
Tel : 03-6861-8181

September 2018 No.141



●注目銘柄 p9

トルコショック

トルコリラ円が史上最安値を更新、他通貨にも影響が及んだ。

●FX・CFDセミナー情報

藤田茂の為替相場を斬る

【東京】	9/5(水)13:00~	東京金融取引所プラザ
【東京】	9/11(火)13:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	9/13(木)13:00~	神戸国際会館
【大阪】	9/14(金)13:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	9/15(土)12:00~	カネツ商事関西支店

藤田茂の実況ライブセミナー

【神戸】	9/13(木)12:00~	神戸国際会館
【大阪】	9/14(金)12:00~	カネツ商事関西支店

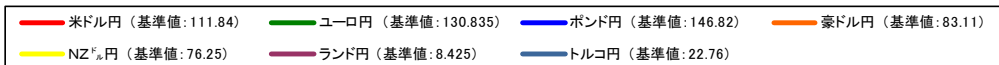
FX・日経225投資セミナー

【東京】	9/4(金)17:30~	東京金融取引所プラザ
【熊本】	9/8(土)10:00~	熊本市国際交流会館
【熊本】	9/8(土)13:30~	熊本市国際交流会館
【東京】	9/11(火)11:00~	東京金融取引所プラザ
【姫路】	9/14(水)13:30~	姫路・西はりま地場産業センター
【神戸】	9/13(水)10:00~	神戸国際会館
【神戸】	9/13(木)18:00~	神戸国際会館
【大阪】	9/14(金)10:00~	カネツ商事関西支店
【大津】	9/14(金)13:30~	大津市ふれあいプラザ
【大阪】	9/15(土)10:00~	カネツ商事関西支店
【岐阜】	9/21(金)14:00~	岐阜市文化産業交流センター
【大垣】	9/21(金)18:00~	大垣情報工房
【東京】	9/25(火)18:00~	東京金融取引所プラザ

 カネツFX証券

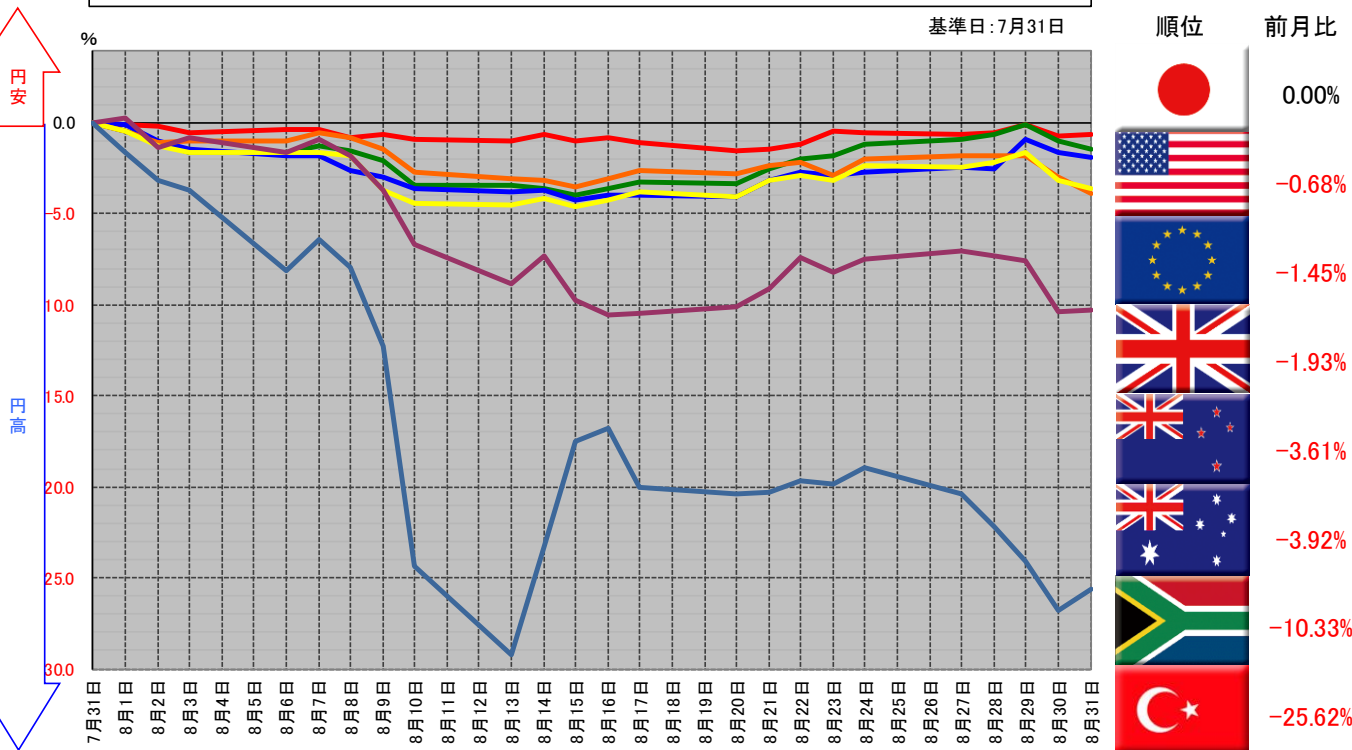
www.kanetsuffix.co.jp

カネツFX証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



8月31日時点評価

順位 前月比



8月1日 米FOMC政策金利発表

FOMCにおいて、政策金利は予想通り据え置きとなった。声明では物価上昇率について、「2%付近で推移している」と指摘し、これまでの「2%に近づいた」との表現を上方修正している。先行きの金融政策も「さらなる段階的な利上げが正当化される」と表明し、9月の次回会合で追加利上げに踏み切る可能性を示した。ただし、FRBは6月の前回会合で、2018年中にさらに2回の追加利上げに踏み切る考えを示唆していることなどから、市場は予想の範囲内といった反応で、米ドル円の値動きも限定的であった。

8月2日 英中銀政策金利

英中央銀行は政策金利を0.25%引き上げ、0.75%とすることを全会一致で決定した。来年3月のEU離脱を控えて、先行きの不透明感が残るものの、物価上昇率が目標2%を上回る水準で推移していることなどを踏まえ、利上げによるインフレ抑制が必要だと判断した模様だ。英利上げの発表と共に一旦は英ポンド買いで反応となるものの、その後、カーニー英中銀総裁の会見に移り、EU離脱交渉はこれから重要な局面に入る旨を述べ、企業心理軟化を示す兆候などにも言及したことから、EU離脱を巡る不透明感などが意識されることとなり、英ポンド円は145円付近まで下落した。

8月3日 7月米雇用統計

7月の雇用統計では、非農業部門での雇用者数(予想:19.0万人 結果:17.0万人)は事前予想値を下回った。そのほか、失業率(予想:3.9% 結果:3.9%)や平均時給(予想:前年比2.7% 結果:前年比2.7%)は事前予想通りの結果となるが、雇用者の伸びが事前の予想値を下回ったことなどから、米ドル円は111.100円付近まで弱含んだ。

8月10日トルコショック

トルコに拘束されている米国人牧師を巡り、米国とトルコとの対立が激化したことなどを背景にトランプ米大統領は10日トルコに対する鋼鉄とアルミニウムの関税を2倍に引き上げると発表した。関税は25%から50%へ引き上げられることとなり、トルコの通貨リラは急落。対米ドルでは前日比の下げ幅が20%を超える場面もあり、2008年のリーマンショック時を上回る下落局面となったほか、対円でも20円台の推移から一時15円台まで急落した。また、リラ急落により、トルコに融資をしているヨーロッパへの影響も懸念された。トルコに多額の融資をしているスペインをはじめ、フランスやイタリアの銀行への影響は避けられず、市場の不安感、ユーロ圏の金融システム維持の可能性まで及んだ。

8月23日 米国の中国製品160億ドルの追加関税発動

トランプ米政権は知的財産侵害に対する制裁関税として、予定通り中国からの輸入品、半導体や化学品など279品目に対して、約160億ドル相当に25%の追加関税を課した。一方、中国側も報復として、同規模の米国製品に関税を課している。ただし市場は、ここまでは織り込んだ内容となっており、米ドル円の反応は限定的であった。

8月23~25日 経済シンポジウム

ワイオミング州ジャクソンホールで開かれている経済シンポジウムにおいて、2日目にパウエルFRB議長の講演が行われた。「物価上昇率は目標の2%に近づいたが、過熱リスクの高まりはみられない」など主張され、そのうえで、「段階的な利上げによってFOMCが分析する中立的水準に近づいてきた」とも指摘した。中立的水準とは景気を過熱させ過ぎず、冷やし過ぎない状態の政策金利水準を指摘しており、FOMC参加者の中央値(2.9%)程度と予想できる。

中立的とみる2.9%程度までは政策金利を緩やかに引き上げる考えを協調した。一方で、物価の過熱リスクは小さいと指摘していることから、中立水準を超える過度な引き締めを回避する考えをにじませた。従来はスタンスから大きく変わった印象はないが、過度な米利上げ期待が後退し米ドル売りの反応が見られた。

8月27日 米国とメキシコがNAFTA再交渉で合意

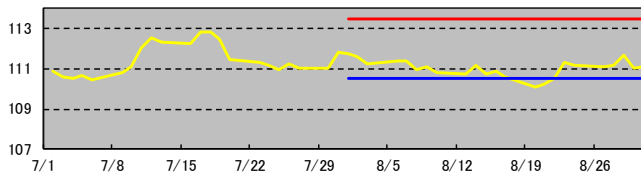
トランプ米大統領は27日、通商政策の要と位置付ける北米自由貿易協定(NAFTA)の再交渉について、メキシコとの二国間交渉がまとまり、「新しい通商協定に入ること合意した」と述べた。米メディアでは米国とメキシコが域内の部品をどの程度使えば関税を撤廃するかを決める「原産地規則」などの重要項目で部分的な合意に達したと報じている。米国とメキシコの合意は、関税なしで輸出入できる条件として、より高賃金の工場で作るよう求める条項を含み、NAFTA域内での調達率を従来の62.5%から75%に高める方向。また、米国製部品の購入拡大を事実上義務付ける条項を新設した。これらをカナダ含む三カ国で最終合意できるかが、今後の焦点となりそう。市場ではカナダを加えた合意期待が先行して、カナダドル買いとなった。

8月30日 米中追加関税で約2000億ドル相当

トランプ米大統領が翌週にも約2000億ドル相当の中国製品に対する追加関税を発動するとの内容が報道された。この報道をきっかけに米中の貿易摩擦への懸念が改めて意識されることとなり、リスク回避的な円買い先行した。米ドル円は110円台半ば付近まで弱含む展開となった。

ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
110.50	113.50



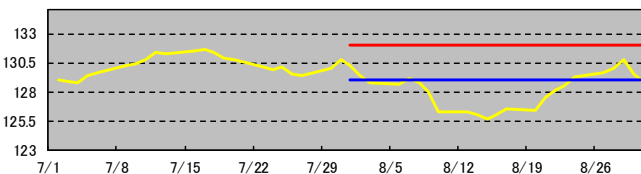
逆張り方針 評価【△】

コメント

予想レンジの、下値付近で軟調に推移した。

ユーロ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
129.00	132.00



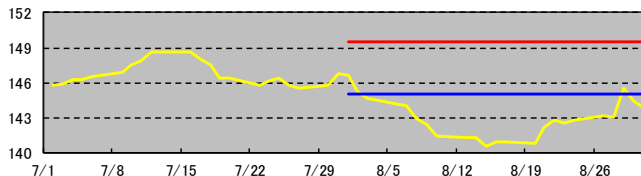
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジから大きく下抜け軟調に推移した。

ポンド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
145.00	149.50



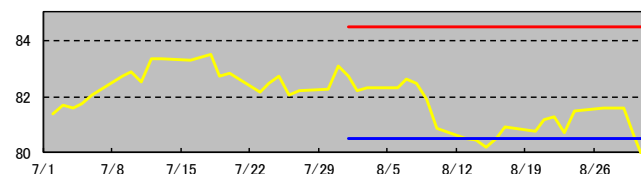
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジから大きく下抜け軟調に推移した。

豪ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
80.50	84.50



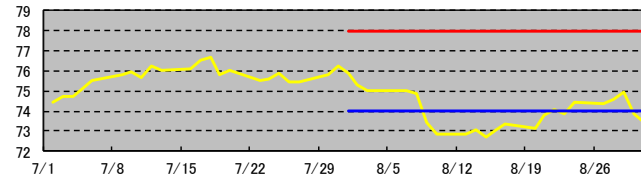
逆張り方針 評価【△】

コメント

予想レンジの、下値付近で軟調に推移した。

NZドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
74.00	78.00



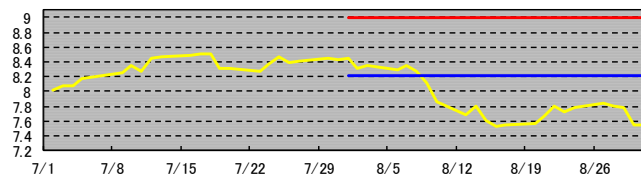
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジから下抜け、軟調に推移した。

ランド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
8.21	9.00



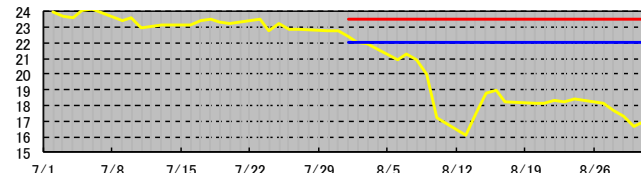
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジから大きく下抜け軟調に推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
22.00	23.50



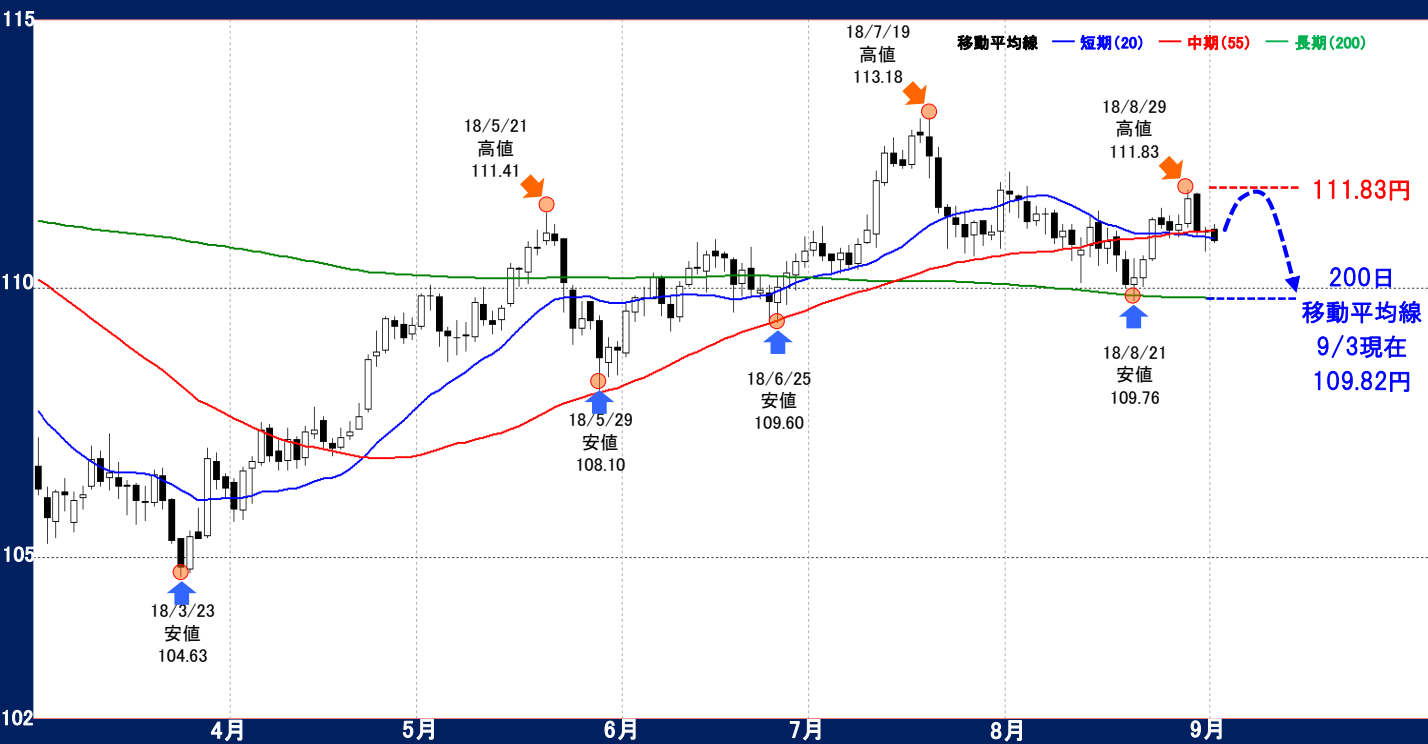
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジから大きく下抜け軟調に推移した。



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ 70%

実線は、8/29高値111.83示現後、軟調となっています。55日移動平均線付近で上値が抑えられています。一方、安値は20日移動平均線付近がサポートとなっておりますが、同線は下降傾向にあることから、下値を探る展開を予想します。20日移動平均線を下抜けた場合、8/21にサポート実績のある200日移動平均線(9/3現在109.82)付近を目指す展開を予想します。一方、上値目途は8/29高値111.83付近と考えます。

リスクシナリオ 30%

上値目途として予想した8/29高値111.83付近を上抜けた場合、その際は7/19高値113.18付近を目指す展開を予想します。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/4 23:00	8月ISM製造業景況指数	—	58.1	★
9/5 21:30	7月貿易収支	—	-463億USD	★
9/6 21:15	8月ADP雇用統計	—	21.9万件	★
9/7 21:30	8月非農業部門雇用者数変化	—	15.7万件	★★
9/7 21:30	8月失業率	—	3.9%	★★
9/12 21:30	8月生産者物価指数(前年比)	—	3.3%	★
9/13 21:30	8月消費者物価指数(前年比)	—	2.9%	★
9/27 3:00	FOMC政策金利	—	2.00%	★★★★
9/27 21:30	第2四半期 GDP(年率/前期比)【確報】	—	4.2%	★★
9/27 21:30	第2四半期PCEコアデフレーター(前期比)【確報】	—	2.0%	★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ 70%

実線は、8/31高値130.88示現後、反落となっています。5月以降124.50-132.00付近のレンジで上下動を繰り返していることから、再び8/15安値124.89付近を目指す展開を予想します。一方で、上値は55日移動平均線(9/3現在129.02)付近が上値抵抗と考えます。

リスクシナリオ 30%

上値抵抗と予想した55日移動平均線(9/3現在129.02)付近を上抜け、再び上昇基調となった場合、その際は200日移動平均線(9/3現在131.27)付近が上値抵抗となると予想します。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/3 17:00	8月製造業PMI【確報】	55.5	54.6	★
9/4 18:00	7月生産者物価指数(前年比)	—	3.6%	★
9/5 18:00	7月小売売上高(前年比)	—	1.2%	★
9/7 18:00	第2四半期GDP(季調済/前期比)【確報】	—	0.4%	★★
9/11 18:00	9月ZEW景気期待指数	—	-11.1	★
9/12 18:00	7月鉱工業生産(前年比)	—	2.5%	★
9/14 18:00	7月貿易収支(季調前)	—	225億EUR	★
9/17 18:00	8月消費者物価指数(前年比)	—	2.1%	★★
9/21 17:00	9月製造業PMI【速報】	—	—	★
9/28 18:00	9月消費者物価指数(前年比)【速報】	—	—	★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

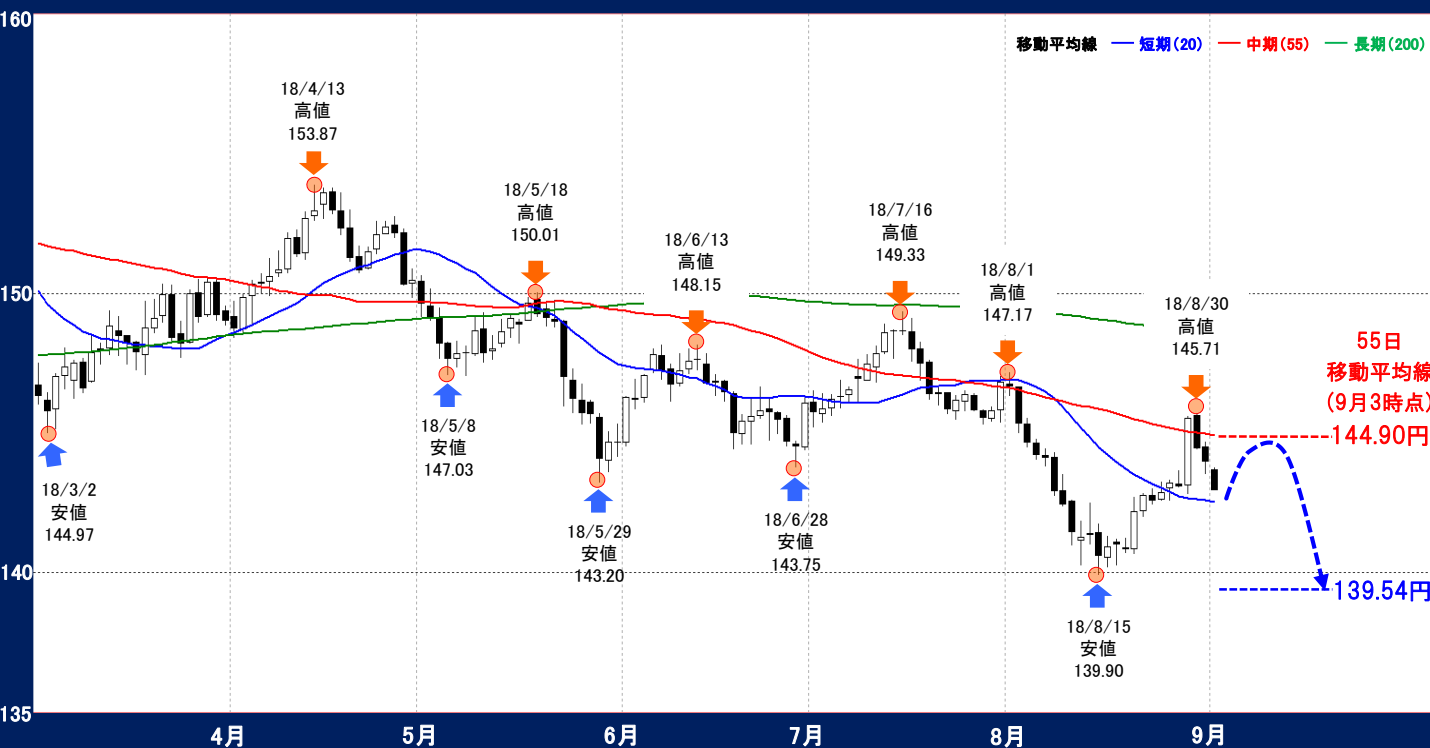
ポンド/円 【戻り売り方針】

予想レンジ

↑ 145.00円
↓ 139.50円



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ **70%**

実線は、8/30高値145.71示現後、反落となっています。55日移動平均線(9/3現在144.90)付近では戻り売り圧力が強く、上値抵抗と予想します。一方、安値は55日移動平均線の乖離率3.7%程度にあたる139.54(9/3現在)付近を目標値と予想します。

リスクシナリオ **30%**

上値抵抗として予想している、55日移動平均線(9月3日現在144.90)を上抜け、上昇基調が続いた場合、その際は、次に200日移動平均線(9月3日現在148.67)付近が上値抵抗と考えます。

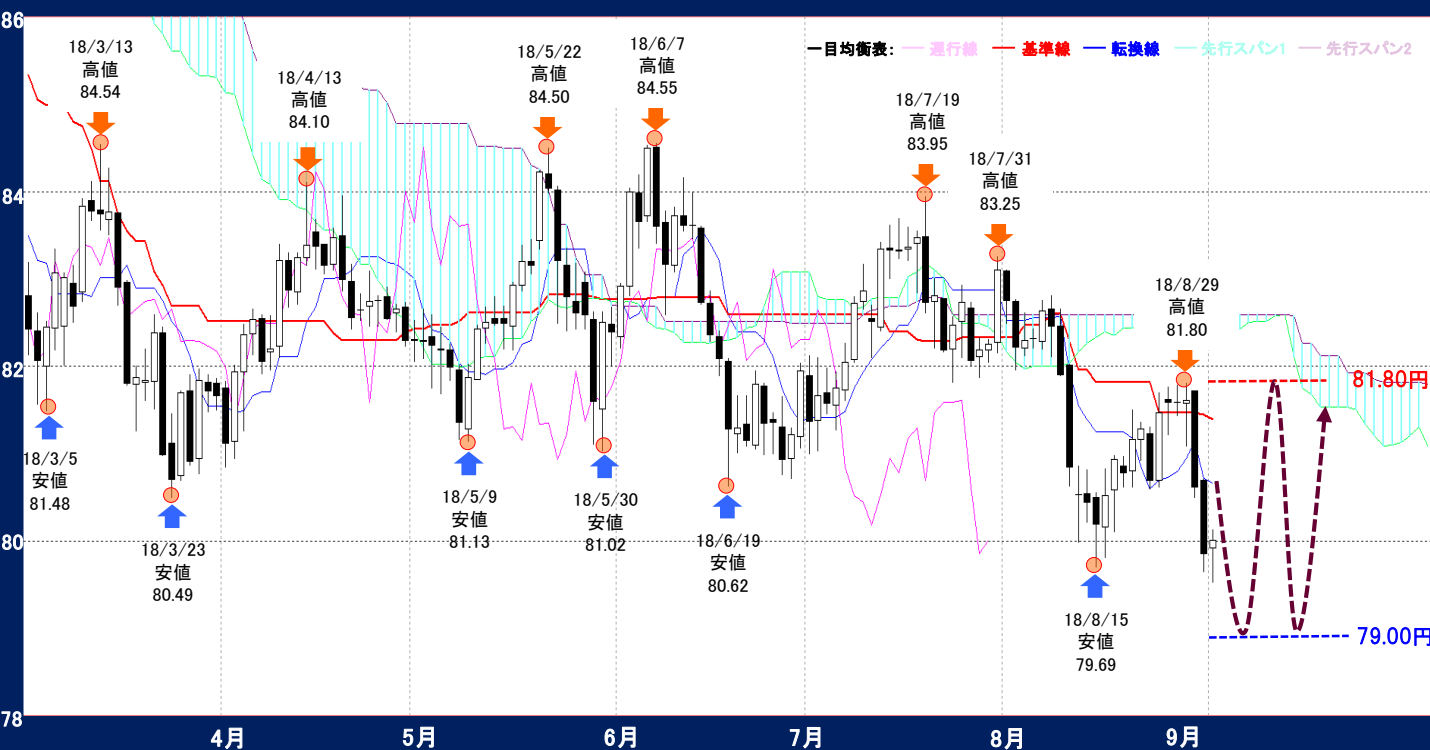
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/10 17:30	7月商品貿易収支	-	-113.83億GBP	★
9/10 17:30	7月鉱工業生産(前年比)	-	1.1%	★
9/10 17:30	7月製造業生産(前年比)	-	1.5%	★
9/11 17:30	8月失業率(社会保障受給)	-	2.5%	★★
9/13 20:00	英国中銀政策金利	-	0.75%	★★★★
9/19 17:30	8月消費者物価指数(前年比)	-	2.5%	★
9/19 17:30	8月小売物価指数(前年比)	-	3.2%	★
9/20 17:30	8月小売売上高(前年比)	-	3.7%	★
9/28 8:01	9月GfK消費者信頼感	-	-7	★
9/28 17:30	第2四半期GDP(前期比)【確報】	-	0.4%	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ 70%

実線は、8/30から軟調な動きとなっています。3月から形成されたレンジ(80.50-84.50)を下抜けた事から、地合いの弱さが伺えます。また、大台である80.00を下抜けていることでも心理的な売り圧力が高まりそうです。下値の目標値は、2016/6/24安値から2017/9/21高値までの上昇分に対する61.80%押しにあたる79.00付近を予想します。一方で、上値目途は8/29高値81.80付近と考えます。

リスクシナリオ 30%

上値目途として予想した8/29高値81.80を上抜けた場合、その際は次に7/31高値83.25付近を目指す可能性が考えられそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/3 10:30	7月小売売上高(前月比)	—	0.4%	★
9/4 13:30	豪州中銀政策金利	—	1.50%	★★★★
9/5 10:30	第2四半期GDP(季調済/前期比)	—	1.0%	★★
9/5 10:30	第2四半期GDP(前年比)	—	3.1%	★★
9/6 10:30	7月貿易収支	—	18.73億AUD	★
9/13 10:30	8月雇用者数変化	—	-3900人	★★
9/13 10:30	8月失業率	—	5.3%	★★
9/18 10:30	9月豪中銀理事会議事録	—		★
9/19 9:30	8月ウエストパック景気先行指数(前月比)	—	0.01%	★

<相場の格言> 遇と不遇は時なり(相場で儲かっているのも損しているのも単なる時の違いにすぎない。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ 70%

実線は8/30高値75.07示現後、反落となっています。また、55日移動平均線(9/3現在74.92)付近で上値が抑えられていることから、引き続き、同線が上値抵抗と予想します。一方、下値の目標値は55日移動平均線から乖離率3.9%程度にあたる71.99付近と予想します。

リスクシナリオ 30%

上値抵抗として予想している55日移動平均線(9/3現在74.92)付近を上抜けた場合、その際は200日移動平均線(9/3現在77.19)付近を目指す可能性も考えられそうです。

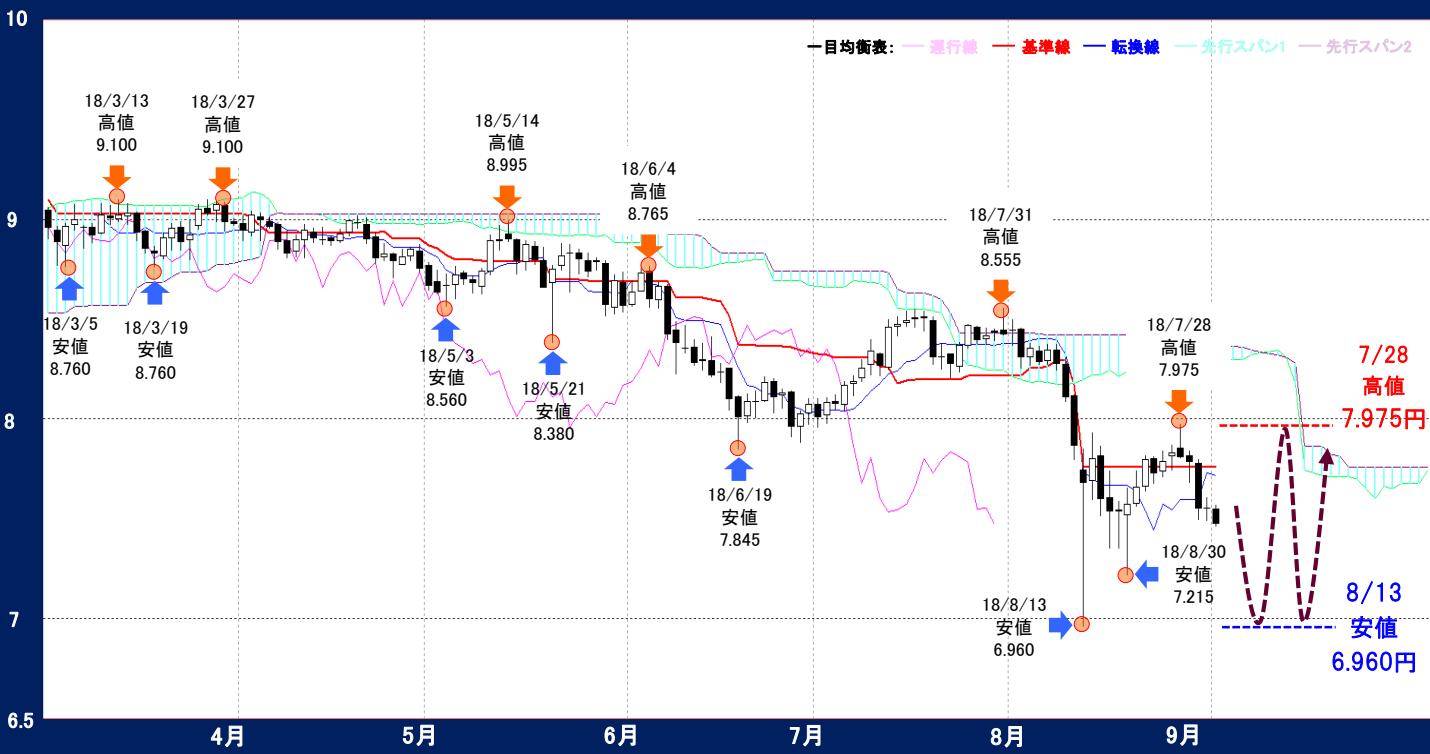
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/19 7:45	第2四半期経常収支	—	1.82億NZD	★
9/20 7:45	第2四半期GDP(前期比)	—	0.5%	★★
9/20 7:45	GDP(前年比)	—	2.7%	★★
9/26 7:45	8月貿易収支	—	1.43億NZD	★★
9/27 6:00	NZ中銀政策金利	—	1.75%	★★★
9/28 7:45	8月住宅建設許可(前月比)	—	-10.30%	★
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ 70%

実線は、7/28高値7.975示現後、軟調な動きとなっています。また、一目均衡表では三役逆転が形成されており、地合いの弱さが伺えるため、再度8/13安値6.960付近を目指す展開を予想します。一方で上値の目途は7/28高値7.975付近と考えます。

リスクシナリオ 30%

上値目途として予想した7/28高値7.975を上抜けた場合、その際は7/31高値8.555付近を目指す可能性も考えられそうです。

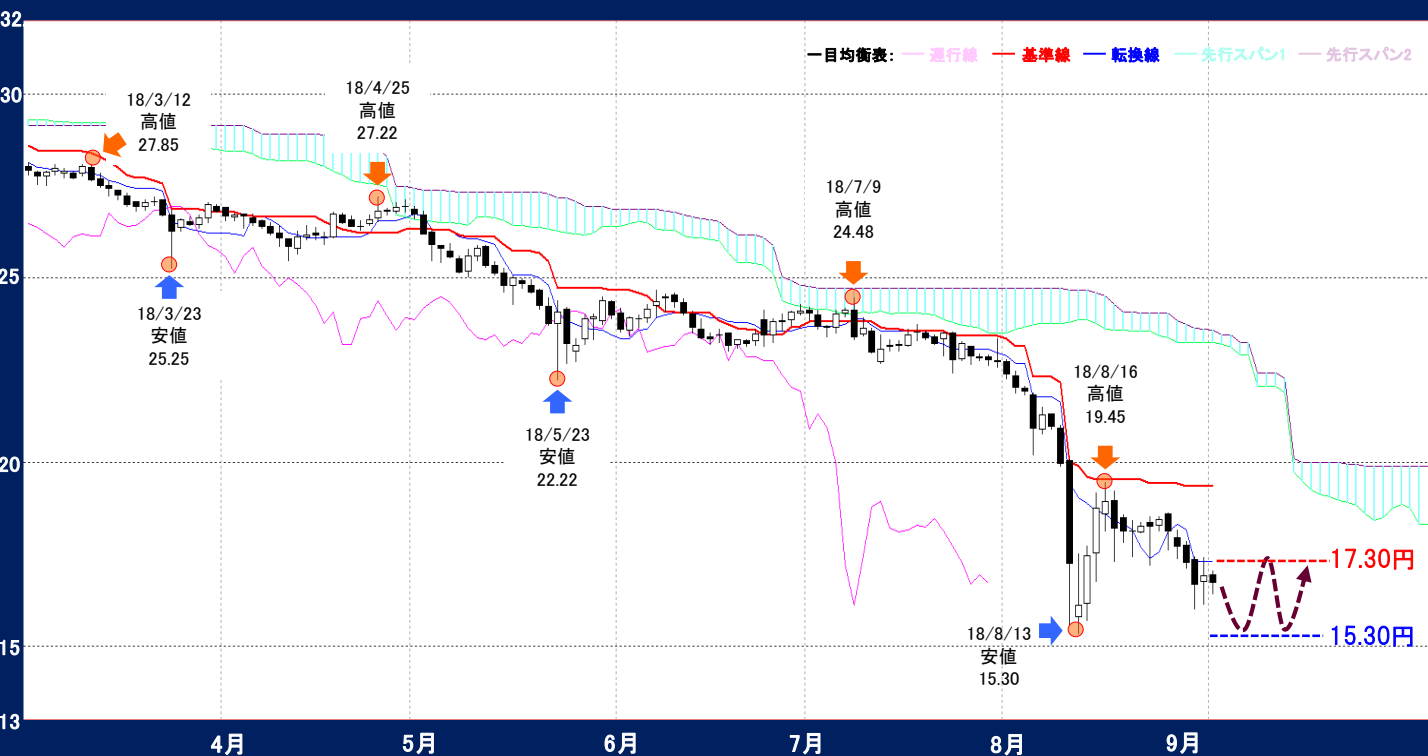
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
9/4 18:30	南アフリカ	第2四半期GDP(年率/前期比)		-0.022	★★
9/6 14:45	スイス	第2四半期GDP(前期比)		0.6%	★★
9/7 14:45	スイス	8月失業率		2.4%	★★
9/10 8:50	日本	第2四半期GDP(前期比)【確報】		0.5%	★★
9/20 16:30	スイス	スイス中銀政策金利		-0.75%	★★★
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日

メイン
シナリオ 70%

実線は、8/13に史上最安値15.30示現後、戻りは限定的となっています。直近では一目均衡表の転換線(9/3現在17.30)付近で上値が抑えられていることから引き続き、同線が上値抵抗となりそうです。一方、下値目標値は、軟調な値動きが継続していることから、8/13安値15.30を再び目指す可能性が考えられそうです。

リスク
シナリオ 30%

上値抵抗として予想している一目均衡表の転換線(9/3現在、17.30)を上抜けた場合、その際は、次に一目均衡表の基準線(19.33)付近を目指す可能性も考えられそうです。

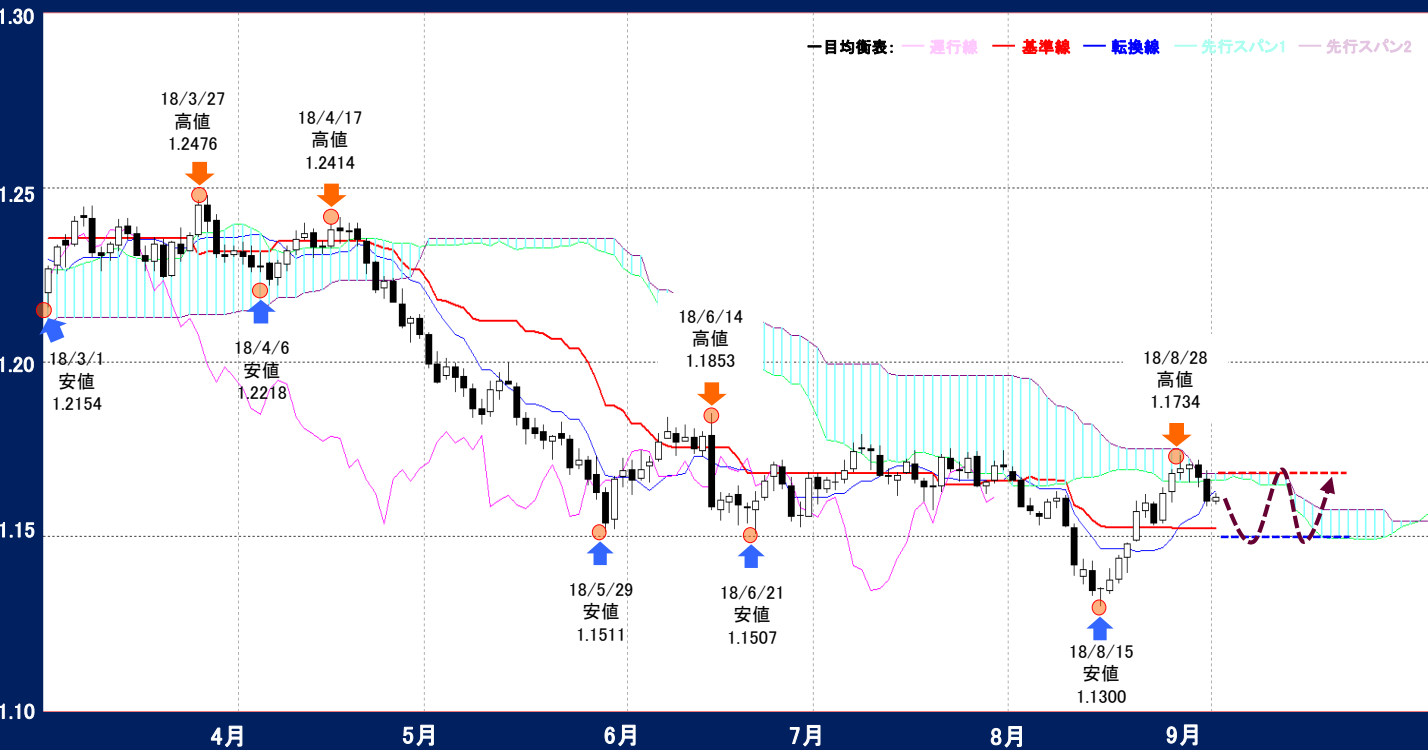
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
9/3 16:00	8月消費者物価指数(前年比)	—	15.85%	★
9/3 16:00	8月生産者物価指数(前年比)	—	25.0%	★
9/10 16:00	第2四半期GDP(前年比)	—	7.4%	★★★
9/13 20:00	トルコ中銀政策金利	—	17.75%	★
9/14 16:00	7月経常収支	—	-29.7億USD	★★
9/17 16:00	7月鉱工業生産(前年比)	—	3.2%	★★
9/17 16:00	6月失業率	—	9.7%	★
9/18 20:30	7月住宅価格指数(前年比)	—	10.53%	★★
9/20 16:00	9月消費者信頼感指数	—	68.3	★
9/28 16:00	8月貿易収支	—	—	★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



[日足] 2018年3月1日～2018年9月3日



メインシナリオ **70%**

実線は、一目均衡表の雲上限付近で上値が抑えられています。引き続き同帯が上値抵抗となる可能性が考えられます。短期的には一目均衡表の雲上限(9/3現在、1.1680)付近が抵抗と予想し一方で、下限は大台1.1500付近と考えます。

リスクシナリオ **30%**

下値サポートとして予想している大台1.1500を下抜けた場合、その際は8/15安値1.1300を再度試す可能性も考えられそうです。

◎ スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	NZ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
17年	9月	1,554円	-206円	612円	1,340円	1,382円	4,815円	2,842円	-26.00ドル
	10月	1,613円	-316円	576円	1,395円	1,524円	5,407円	3,188円	-25.00ドル
	11月	1,294円	-353円	696円	1,030円	1,198円	4,392円	2,614円	-26.00ドル
	12月	3,680円	652円	2,642円	1,599円	2,113円	5,835円	2,990円	-34.00ドル
18年	1月	1,804円	-189円	993円	1,499円	1,424円	5,615円	3,043円	-27.00ドル
	2月	1,502円	-239円	705円	1,212円	1,274円	4,908円	2,656円	-24.00ドル
	3月	1,516円	-238円	590円	1,137円	1,237円	5,221円	2,680円	-26.00ドル
	4月	2,049円	-200円	857円	1,542円	1,441円	5,631円	2,975円	-26.00ドル
	5月	1,923円	-105円	701円	1,272円	1,306円	4,662円	2,604円	-28.00ドル
	6月	2,177円	-58円	785円	1,460円	1,255円	4,422円	3,160円	-23.00ドル
	7月	2,083円	-169円	657円	1,334円	1,287円	4,375円	3,064円	-23.09ドル
	8月	2,336円	-208円	1,080円	1,421円	1,420円	4,761円	3,714円	-26.30ドル
	計	23,531円	-1,629円	10,894円	16,241円	16,861円	60,044円	35,530円	-314.39ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
政策金利	2018年3月	-0.10	1.75	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.25	6.50	8.00
	2018年4月	-0.10	1.75	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.25	6.50	8.00
	2018年5月	-0.10	1.75	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.25	6.50	16.50
	2018年6月	-0.10	2.00	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.25	6.50	16.50
	2018年7月	-0.10	2.00	0.00	0.50	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	17.75
	2018年8月	-0.10	2.00	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	17.75
失業率	2018年2月	2.5	4.1	8.5	2.4	5.5	4.4	2.9	5.8	26.7	10.6
	2018年3月	2.5	4.1	8.6	2.4	5.5	4.4	2.8	5.8	26.7	10.1
	2018年4月	2.5	3.9	8.4	2.5	5.6	4.5	2.7	5.8	27.2	9.6
	2018年5月	2.2	3.8	8.3	2.5	5.4	4.5	2.7	5.8	27.2	9.7
	2018年6月	2.4	4.0	8.3	2.5	5.4	4.5	2.6	6.0	27.2	-
	2018年7月	2.5	3.9	8.2	2.5	5.4	-	2.6	5.8	-	-
GDP	2016年 4Q	1.2	1.9	1.8	2.2	2.4	2.7	0.6	0.4	0.7	3.5
	2017年 1Q	1.0	1.2	2.1	2.1	1.8	3.0	0.6	0.4	1.0	5.0
	2017年 2Q	2.6	3.1	2.4	1.9	1.9	2.8	0.5	0.3	1.3	-
	2017年 3Q	1.4	3.2	2.6	1.7	2.8	2.7	1.2	0.2	0.8	-
	2018年 1Q	-0.9	2.2	2.5	1.2	3.1	2.7	2.2	0.3	0.8	-
	2018年 2Q	1.9	4.2	2.2	1.3	-	-	2.2	0.0	-	-
10年国債	2018年3月	0.049	2.739	0.497	1.350	2.601	2.718	0.027	2.091	-	12.265
	2018年4月	0.055	2.953	0.559	1.418	2.769	2.840	0.088	2.307	-	-
	2018年5月	0.040	2.859	0.341	1.230	2.670	2.729	-0.066	2.244	-	-
	2018年6月	0.036	2.833	0.291	1.241	2.631	2.782	-0.108	2.138	-	-
	2018年7月	0.062	2.960	0.443	1.330	2.650	2.759	-0.011	2.310	-	17.590
	2018年8月	0.107	2.860	0.326	1.427	2.519	2.535	-0.095	2.228	-	20.660

【免責事項】

- カネツFX証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはカネツFX証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のカネツFX証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,080円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,080円のうち756円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道216円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は216円のうち108円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり30,000円～60,000円(2018年9月3日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

カネツFX証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@kanetsufx.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員